

philharmonia
orchestra
フィルハーモニア管弦楽団

©Benjamin eslovega



指揮
エサ=ペッカ・サロネン

©Peter Mier



ヴァイオリン
ヒラリー・ハーン



2015
3/7 (土) 14:00

ESA-PEKKA SALONEN, *Conductor*
HILARY HAHN, *Violin*

東京芸術劇場コンサートホール

Saturday 7th March 2015, 14:00 at Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

シベリウス：交響詩「トゥオネラの白鳥」

『レンミンカイネン』組曲 op.22より 第2曲

J.Sibelius : II. The Swan of Tuonela, Lemminkäinen Suite op.22

ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.77

J.Brahms : Violin Concerto in D Major op.77

ベートーヴェン：交響曲第3番 変ホ長調「英雄」 op.55

L.v.Beethoven : Symphony No.3 in E-Flat Major op.55 "Eroica"

東京
芸術
劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre

S ¥19,000 A ¥15,000 B ¥11,000 C ¥7,000 D ¥4,000 *SS ¥22,000 (枚数限定)

東京芸術劇場ボックスオフィス

0570-010-296 (休館日を除く10:00~19:00)

<http://www.geigeki.jp/t/>

チケットぴあ

0570-02-9999 [Pコード:239-874]

イープラス

<http://eplus.jp/>

東京文化会館チケットサービス

03-5685-0650 [10:00~19:00]

ローソンチケット

0570-000-407 [オペレーター対応10:00~20:00]

0570-084-003 [Lコード:39310]

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

後援：ブリティッシュ・カウンシル/フィンランド大使館

※未就学児の入場はお断りいたします。※都合により出演者・曲目等が変更になる可能性があります。公演中止を除き、お問い合わせいただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

芸術先行

(WEB先着)

9月30日(火)

一般発売

10月7日(火)

黄金時代を迎えた巨匠&名門

エサ＝ペッカ・サロネンが、2008年から首席指揮者／アーティスティック・アドヴァイザーを務めるフィルハーモニア管弦楽団を率いて、東京芸術劇場に2年ぶりに登場する。

前回の日本ツアーは、初演から100年のストラヴィンスキー《春の祭典》やポーランドのルトスワフスキはじめ、古典から自作品まで、サロネンこだわりの個性的な選曲で、どのプログラムにも驚きと発見があった。なかでもベートーヴェン。サロネンといえば、どんな複雑なスコアでも見事に捌いてしまう近現代作品が得意な指揮者とのイメージが強いが、ベートーヴェンの作品では、ピリオド・アプローチを意識しながら、颯爽と刺激的な音楽を作り出した。

「ベートーヴェンの音楽は、彼が生きていた時代のどの音楽よりも未来に通じている」とその魅力をサロネンは語る。今回の来日では、革新的な作品と位置づけるベートーヴェンの《交響曲》第3番「英雄」を取り上げる。サロネンがこの慣れ親しんだ名曲のスコアをどのように読み解き、新鮮な驚きを与えてくれるのか楽しみである。

協奏曲のソリストには、ヴァイオリンのヒラリー・ハーンを迎える。かつての天才少女も、いまや世界で活躍するトップアーティスト。東京芸術劇場には2013年のネルソンス指揮／バーミンガム響のソリストとして登場し、完璧な技巧と、豊かに香り立つヴァイオリンの音色で聴衆を魅了した。今回のブラームスの重厚な大作《ヴァイオリン協奏曲》は、サロネンの指揮なら演奏を承諾したという。ヴァイオリニストとしてさらなる高みを目指すハーンにとっても挑戦であり、今後も語り継がれる演奏になるだろう。さらにシベリウスの「トゥオネラの白鳥」は、フィンランドのお国ものというだけでなく、近年は「モダニズム」の視点からの解釈に注目が集まる作曲家である。この作品にも新しい光が当てられることになる。本国でもますます評価の高まるサロネンと名門オーケストラの黄金時代に期待したい。

柴辻純子（音楽評論家）



キッズルーム(託児)のご案内

東京芸術劇場でご鑑賞の際には、一時託児をご利用いただけます！
利用日の7日前までにご予約下さい。

利用時間：開演1時間前から終演後30分まで
利用料金：生後4ヶ月～1歳児：2,160円
2～6歳児：1,080円
※予約申込み・詳細は、右記にお問合せください。

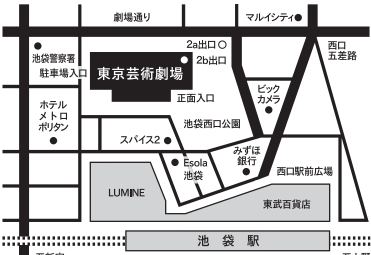
申込み・問合せ先：
芸劇キッズルームミュージック
電話：03-3981-7003



東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1
TEL:03-5391-2111
＜アクセス＞ JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分。池袋駅地下通路の2b出口で直結しています。





エサ＝ペッカ・サロネン〔首席指揮者&アーティスティック・アドヴァイザー〕
ヘルシンキ生まれの指揮者・作曲家。シベリウス・アカデミーに学び、1979年、フィンランド放送響を指揮して指揮者デビュー。1985年～95年スウェーデン放送響の首席指揮者、また1992年～2009年までロサンジェルス・フィルの音楽監督を務め、桂冠指揮者となった。2008年9月フィルハーモニア管弦楽団の首席指揮者及びアーティスティック・アドヴァイザーに就任。多数の現代作品の初演をはじめとする現代音楽に対する解釈もきわめて高く評価されている。また、受賞暦としてキジアーナ音楽院からシエナ賞、英国のロイヤル・フィルハーモニック・ソサイエティからオペラ賞・指揮者賞、フランス政府から芸術文化勲章「オフィシエ」等がある。



ヒラリー・ハーン〔ヴァイオリン〕
アメリカ・ヴァージニア州生まれ。3歳でヴァイオリンを始める。10歳でフィラデルフィアのカーティス音楽院に入学。イザイ最後の門下生として著名なヤッシャ・プロツキーに師事した。カーティス音楽院入学の翌91年にオーケストラ・デビュー、14歳の時ハンガリーでI.フィッシャー指揮／ブダペスト祝祭管と共演して国際的なデビューを飾り、95年マゼール指揮／バイエルン放送響との共演でドイツ・デビュー。96年フィラデルフィア管との共演でカーネギー・ホール・デビューを果たした。以降、世界各地でリサイタルを行い、多数の著名オーケストラと共演している。



フィルハーモニア管弦楽団
1945年EMI(当時の英コロムビア)の芸術部長W.レグによって創設。その後R.シュトラウス、カラヤン、トスカニーニ、フルトヴェングラー等の巨匠を指揮者に招き、その名演と共に一躍欧州楽壇の注目の的となった。特にカラヤンとは多くの録音を残し、欧米各地に演奏旅行も行った。その後クレンペラー、ムーティ、シノーポリが首席指揮者となり、90年はシノーポリ、2007年はインバルの指揮により、東京で『マラー・チクルス』の公演を行なった。1997年にドホナーニが首席指揮者に就任。さらに2008年エサ＝ペッカ・サロネンが首席指揮者及びアーティスティック・アドヴァイザーに就任。現在はサロネンの他に終身名誉指揮者にドホナーニ、桂冠指揮者にアシュケナージという陣容となっている。